

覚醒する

陽羅 義光

相変わらず覚醒剤（俗称シャブやスピードなど）は世間に蔓延していて、知性も理性もない芸能人（なかでもミュージシャン）の象徴としてASKAが逮捕されたりしている。

なぜ知性も理性もないかと云うと、ヤクをやる人間（格別芸能人、なかでもミュージシャン）は完全に勘違いしていて、法で禁止されているからヤバイと思いついでいるからなのだ。

ヤバイのはそんなことでも、ヤクでおまえがボロボロになることでもなく、暴力団の最大の資金源がヤクだからなのだ。

この事実は、日本に限らず、麻薬大国はみんなそうだ。

つまりは、ヤクをやる人間たちが暴力団やマフィアをのさばらせているわけなので、極端に云うなら、この世の人間が総てヤクに手を出さなければ、暴力団やマフィアは軒並み壊滅するわけなので、どんなにカッコウよい歌詞のステキな楽曲の歌を歌っても、インチキなのだということを、そろそろ自覚すべきではないのか。

そのためには（言葉の意味というか綾というか洒落というか、は奇妙なものであって）覚醒剤に手を出さないためには、まず人間が「覚醒する」ことが大事なのである。

ヴァレリーにこんな言葉がある。

【「あのいつも覚醒している驚嘆すべき脳髓」—これは、同じポオについて語ったボードレルの言葉。これは角笛の響きのように私を感動させ、私の全知力を興奮させた一つのシグナル。】

人間たちが、常に知性と理性を研ぎ澄ませ、覚醒すること。

そのことによってしか、覚醒剤の撲滅はあり得まい。

初犯は執行猶予付きと云う日本の現行の法律は酷く甘く、麻薬対策には全くなっていないどころか、助長すらさせるくらいなものだ。

覚醒するとは、（別の視点から云うなら）次のマルクス・アウレリウスの言葉のなかにある、こうした意識化のことである。

【存在しないものを、すでに存在するものとする。それより現存するものの中からもっともありがたいものを数え上げ、もしこれがなかつ

たら、どんなにこれを追い求めたであろうかということ、これに関して忘れぬようにせよ。しかし同時に、これをたのしむあまり重要視する習慣に陥り、そのためにこれがなくなったら気も動転してしまうことにならないよう注意せよ】

意識化し得たなら、こんどは徹底化させること。

そのためには、小学校から「ヤク教育」を始めることが大切。

いまのヤワな日教組に、そんな発想は出ないだろうが。